



発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@n-mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2022
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布
は、著作権の侵害にあたり違法です。



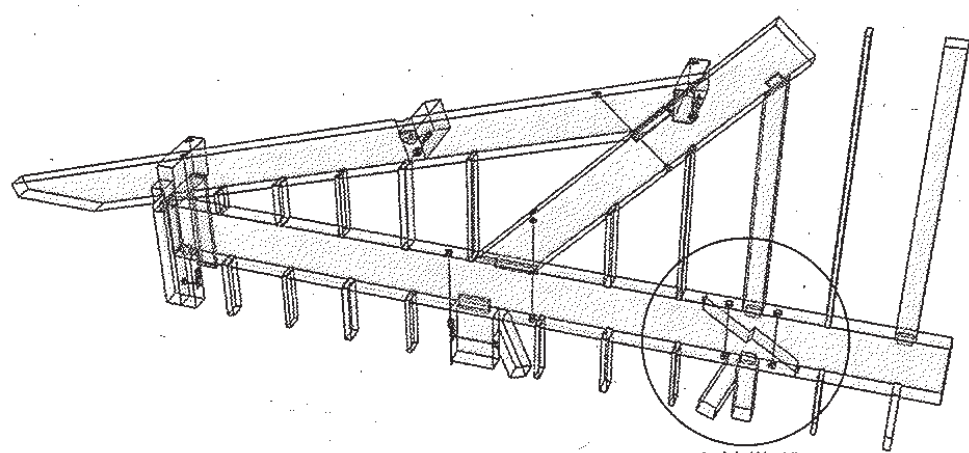
XF15で在来工法に対応

ネットイーグル

機械メーカーの協力を得て加工形状統一

ネットイーグル(福岡市、祖父江久好社長)は非住宅対応のプレカットCAD「XF15」で、在来工法の仕口、継ぎ手に完全対応する。従来のプレカットCADと異なり、接合部の加工実寸法をCAD側で設定する仕組みを採用するため、異なる機械メーカーの加工機でも同一の形状、寸法で加工できるほか、住宅の座標軸を外れた複雑な架構の物件でも自在に設計、入力できる。一部の形状は既に対応しているが、来年4月に発売するVer. 24で完全対応する。

通常、在来工法のプレカットは、接合部の加工実寸法をCAD側でなく加工機側で保持しているため、機械メーカーごとに異なる形状、寸法で加工されている。一方、金物工法のプレカットは、金物メーカーごとに加工実寸法の工場加工を分散す



台持継ぎ

在来工法の仕口、継ぎ手に完全対応する

るケースがある。この場合、加工形状が同じ金物工法ならどこの工場でも同じ加工ができるが、加工形状が異なる

る在来工法の場合、同じメーカーの加工機を選ばなかった。今回、XF15では各機械メーカーの協力を得て、CAD側の設定寸法で加工できるようにすることで、異なる機械メーカーの加工機でも同一の形状、寸法で加工できるようになる。

海外製の特殊加工機などに対応するXF15では、もともと加工実寸法をCAD側で保持する形式を採用しているため、個別

設計の製作金物も自在に入力、加工できる。通常の在来工法のプレカットCADでも非住宅に対応できるが、大スパンの間取りや住宅の座標軸を外れた複雑な架構の入力には不向きで、大断面集成材を使う部分や複雑な架構部分のみ手加工で対応したり、XF15などの専用CADと特殊加工機で入力、加工したりするケースがほとんどだった。

XF15で在来工法が入力できれば、在来工法から金物工法、製作金物まで同じ1つのCADで入力できるようになるほか、住宅向けのCADでは入力できなかった複雑な架構の物件にも対応でき、さらには複数の工場による分散加工も可能になる。プレカット工場の非住宅対応では、在来工法が最も多いことは同社が毎年実施しているアンケート調査でも証明されている。今回、XF15で在来工法に対応することで、在来工法プレカットの可能性が一段と広がることになる。